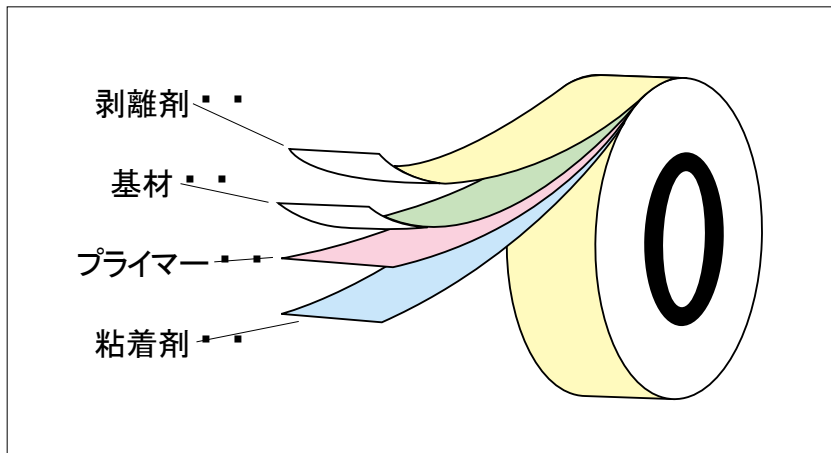


## 電気テープの基本構造



### 粘着剤システム

#### RT（熱硬化型ゴム系）

熱硬化型ゴム系粘着剤は、良好な初期粘着力を持ち、電氣的安定性に優れています。またさらに、指定された熱硬化を行うことで、天然ゴムと含有樹脂とが架橋結合し、より大きな粘着力・結合力を発揮するとともに、耐溶剤性、耐熱性を高める事もできます。この粘着剤システムには、良好な粘着性を与えるために粘着付与剤が加えられています。また、内部強度を増強する目的で、特殊なフィラーも使用しています。

- 熱硬化条件 120℃ / 3時間
- 135℃ / 2時間
- 150℃ / 1時間

#### A（アクリル系）

アクリル系粘着剤と組み合わせられたテープには、テープ個々の用途に最適な能力を発揮するよう特別に配合された合成ポリマーが使われています。高度なポリマー技術により配合された粘着剤は、優れた耐熱性、耐溶剤性、耐油性を備えています。

#### ST（熱硬化型シリコン系）

シリコン系粘着剤の構造は、熱硬化型ゴム系粘着剤と類似した構成となっていますが、ゴム系よりも高い熱硬化温度を必要とします。この粘着剤システムの特長は、シリコ

ーンを適切に配合することで、粘着剤システムの内部強度と粘着力のバランスを良好に保ち、しかも非常に優れた耐熱性を発揮することです。また、低い温度条件下でも使用可能です。

- 熱硬化条件 260℃ / 3時間
- ※耐溶剤性を最大限発揮させるためには、260℃で24時間硬化させます。

#### RN（非熱硬化型ゴム系）

熱硬化システムを持たない粘着剤でRT型粘着剤の初期特性とほぼ同等の性能を保持します。